

ASCO2017に参加して



若年がんサバイバー & ケアギバー集いの場くまの間 加藤 那津

### 1. はじめに

この度は PAL ASCO2017 プログラムにて 6/2～6/6 までシカゴで開催された ASCO2017 に参加させていただきました。

—昨年（2015 年）、昨年（2016 年）に続き 3 回目の参加でした。

### 2. 出発まで

3 度目の参加と言うこともあり、ホテルは ASCO2016 が終わってすぐに予約し、飛行機も半年ぐらい前には予約しました。

ホテルは、会場であるマコーミックプレイス行きのシャトルバスが出ているホテルの近くに予約しました。

昨年は、なぜかスマホにもタブレットにも ASCO 公式アプリを入れること出来なかったのですが、今年は無事に事前にアプリを入れることが出来、どのセッションを聞くか事前に準備しました。

### 3. ASCO2017 に参加

会期当日にシカゴ入りし、午後から開始の学会に参加するためホテルに荷物を置いてから、会場であるマコーミックプレイスに向かいました。

会場となっているマコーミックプレイスはとても広いので会場と会場の移動にとっても時間がかかることや、過去の経験で会場内がどこも凍えるように寒いことから、カイロや防寒グッズを用意し、歩きやすい靴で参加しました。今年の会場もとても寒かったです。



レジストレーションを済ませ、まずはパシエントアドボケイトが集まるラウンジへ向かいました。



#### 4. セッションへの参加

これまで、「遺伝」、「乳がん」、「サバイバーシップ」をキーワードに参加セッションを決めましたが、今年もだいたい同じようなキーワードで参加セッションを決めました。

日本の学会では AYA 世代について取り上げられることも多くなってきたので、ASCO にも AYA 世代に関するセッションがあれば参加したいと思っていましたが、興味のある内容のものはありませんでした。

#### 5. パシエント・アドボケイト・ラウンジ

パシエント・アドボケイト・ラウンジはパシエント・アドボケイトとして参加している人が利用できるラウンジであり、ここでは PC で調べ物ができたり、世界各国、全米各地から参加している患者団体の人と交流することができたり、資料の収集をすることもできました。患者向けセッションもそこで開かれていました。

また、朝食、昼食、軽食、飲み物などが用意されているのでセッションの始まる前や 合間に休憩することもできました。

一昨年、昨年とは部屋のレイアウトが少し違い、また Quiet Space というものも設けられていました。



ラウンジで他の患者団体の方と交流ができるのもここならではの魅力です。一昨年、昨年お話ししたアメリカの乳がんの患者会の方々、2年ぶりに再会するブラジルの卵巣がんサバイバーの方、今年初めてお会いしニュージーランドの婦人科がんの団体の方などと情報交換をしました。



## 6. 患者団体のブース

ASCO がスポンサーとなって、患者団体のためのブースが製薬企業やその他様々な企業のブースがあるのと同じ展示会場に（日本癌治療学会のブースもここに）ありました。様々ながん種の患者団体がブースを設けていました。ここでは、資料を集めたり、患者団体の方からお話を聞いたり、ラウンジとはまた違った形の交流をすることができます。今年は、これまでに無かった患者団体のブースが多くありました。



## 7. おわりに

今回は一昨年、昨年に続き 3 回目の ASCO に参加させていただきましたが、参加したセッションだけでなく、日本から一緒に参加した患者団体の方や、ペイシエントアドボケイトラウンジやブースで交流した海外の患者団体の方の交流から 2015 年 11 月より地元名古屋で立ち上げた若年のサバイバーさんなどの交流会のためのヒントもたくさん得ることができました。

今年はセッションの参加より、患者団体の方々との交流に重点を置きましたが、来年は今年より多くのセッションに参加したいと思います。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。今後の患者活動に活かして行きます。今回は特に一緒に参加した方や、PAL 委員の先生方に感謝いたします。ありがとうございました。

